

<以下、仮訳ですので、使用に当たっては原文をご確認ください。>

https://www.nea.gov.cn/2024-07/12/c_1310781450.htm

国家能源局 (National Energy Administration)

电厂存煤超 1.2 亿吨 迎峰度夏煤炭供需大体平衡

发布时间：2024-07-12 来源：经济参考报

「年初以来、発電所の在庫と利用可能日数は常に前年同期を上回り、近年では過去最高を記録している。7月4日の時点で、中国電力連合会の燃料統計に含まれる石炭火力発電所の石炭在庫は1.2億トンを超え、前年同期比228.5万トン増加し、在庫品の使用可能日数は27.1日となり、前年同期と比べて3.3日増加した。」と、中国電力企業連合会（以下、“中電連”と略称する）の計画発展部副主任の芦国良氏は、7月10日の<<中国電力産業年次発展報告 2024>>（以下、“<<報告>>”と略称する）の記者会見で述べました。石炭需給等多方面からの情報を踏まえ、下半期の石炭需給は概ね均衡することが見込まれますが、地域性や時期的要因による影響が更に強まるとのことです。

年初以来、我国の電力消費量は継続的に増加し続けています。1月～5月の、全国の電力消費量は3兆8,400億KWhであり、前年同期比8.6%増加し、増加率は2023年の同時期より3.3%ポイント高かった。昨今の高気温及び経済の好景気の影響を受けて、各地で電力負荷が急速に高まっています。7月10日16時45分の時点で、中国南方電力網の最大電力負荷は2.38億KWに達し、過去最高を記録しています。斯の中で、広東省の電力負荷は今年2度の最高値を更新し、1.49億KWに達しました。

夏の電力ピークシーズンを迎えて、電力を安全且つ安定的に供給するにはどうすればよいでしょうか？ 現在、火力発電は我国の電力設備容量の46%を占めており、依然として夏のピーク時の主力電源であり、発電用石炭の供給確保が極めて重要であります。

中国電力連合会の計画発展部の張琳主任は、今年の石炭火力発電のピーク発電能力が更に強化されていると述べています。石炭火力発電所を柔軟性を有するものへの変革深化に伴い、石炭火力発電は負荷ピーク時間帯でも負荷に対処できることが徐々に分かってきました。この外に、石炭火力発電企業は石炭の中長期契約を厳格に履行し、石炭貯蔵業務を事前に計画して実行しており、発電所の石炭在庫は近年歴史的な高水準を維持しています。これに依り、今年の夏のピーク時の電力供給を確保する強固な基盤が築かれています。

但し、注意が必要な事は、電力及び石炭の需給には不確定要素が多く存在しており、夏のピーク期に於ける石炭の供給確保には若干の不確実性が伴っています。芦国良氏は、夏場の我国の空

調冷房用の電力負荷は約 30%、一部地域では 40%以上を占めており、今夏の気温が電力と石炭の需要に及ぼす影響を依然として重視する必要があると指摘しています。また、風力発電、太陽光発電、及び水力発電は不確実性があるが、石炭火力は安定的な電力供給源となっています。従来型電源の増加は電力負荷の増加に比べて小さく、石炭火力は安定供給電源として機能するが、発電及び石炭消費の変動性と不確実性は今後も増大し、石炭の消費は増加し続けるでしょう。この外に、年初以降、石炭生産量が減少し、夏のピークシーズンを迎えて、発電所の毎日の石炭消費量は季節的な増加方向に入り始めていますが、産業チェーンの各リンクに保管されている石炭を消費することにより、購入需要が和らげられています。

大規模な異常気象に見舞われた場合など、主要な石炭産出省の石炭生産量が夏と冬の電力ピーク期に適時かつ効果的に回復できない場合、石炭の需給バランス、主要輸送路ルート等は何れも不都合な圧力に直面することになり、今年の電力供給の確保に一定の潜在リスクを生じる可能性があります。

《報告》は、2024 年度の全国電力消費量の伸び率は 2023 年と同様であり、新エネルギーの新規設備容量は急速な伸びを維持し、電力供給能力は引き続き向上すると予測しています。全国の電力需給状況は全体的に逼迫した状況であり、夏期と冬期の電力消費ピーク期間に、一部の地域では電力供給が逼迫するでしょう。（記者；王璐 实习生 徐婷）